

H20, SPR

CMnavi

No. 24

(社) 日本建設機械化協会
中国支部

魅力ある中国支部ホームページの充実を図りました。

中国支部への意見・要望・お問い合わせはこちらまで
jcmachugoku@mail.kumagaku.jp
TEL 082-221-0841
FAX 082-221-0531

018310

WHAT'S NEW

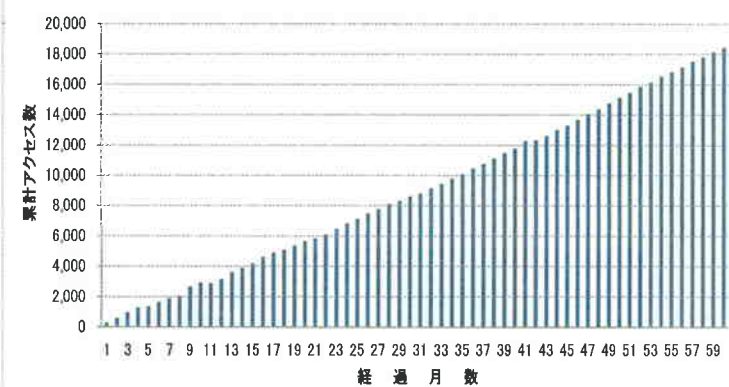
- 02月07日(木) 平成20年度建設の機械化施工優良技術者の募集中
申し込み締め切り3月31日
- 02月04日(月) 1・2級建設機械施工技術検定試験 試験の手引き販売開始
受験申し込み 3月13日(木)~4月11日(金)
学科試験 6月15日(日)
- 12月21日(金) CMnavi NO. 23 (中国支部機関誌) を発行しました。
- 11月20日(火) 平成19年度1・2級建設機械施工技術検定試験の合格発表が有りました。

(社) 日本建設機械化協会中国支部ホームページは、20年4月2日に開設以来5年を経過し、ホームページのアクセス数も順調に伸び18,472件に達し1日当たり10人程度の人に利用されております。

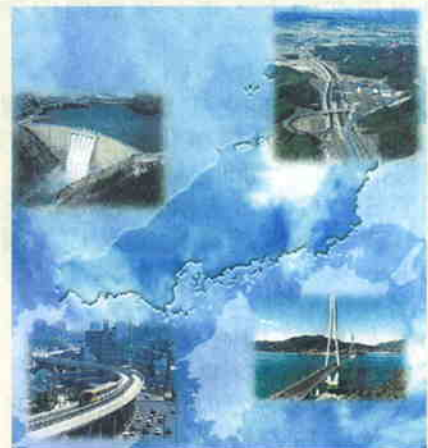
今回、トップページ、中国支部の概要、会員情報、事業内容等を一新し、より魅力ある中国支部ホームページにリニューアルいたしました。

<http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>

ホームページアクセス回数経緯



JCMa 中国
JAPAN CONSTRUCTION MECHANIZATION ASSOCIATION



中国地方の発展をめざして

社団法人 日本建設機械化協会 中国支部

中国支部のしおりを一新しました。

(社) 日本建設機械化協会中国支部中期事業計画(18~21年度)の実施に伴い、中国支部のしおりの内容の見直しを行いました。

中国支部のしおり

中国支部行事の紹介

今後の講習会等行事予定

日時	行事名	内容	参加者
20年 4月15日	第22回 新技術・新工法発表会 場所：広島国際教育センター	新技術・新工法発表課題 ①3D-MCコンクリート舗装 ②鋼橋等鋼構造物の腐食劣化診断技術の開発 ③ECウオール工 映像による最近の機械化施工の紹介（7件）	一般 募集
20年 6月10日	第56回中国支部通常総会 時間 15:00～16:15	平成19年度事業報告書及び同決算報告書 平成20年度事業計画案及び同収支予算案	会 員
20年 6月10日	通常総会記念講演 時間 16:15～17:30 場所 八丁堀シャンテ	演題：原子力発電所土木施設の耐震安全性評価 講師：(財)電力中央研究所 地球工学研究所 副所長 金津 努氏	

当協会で開催する講習会、発表会、研修会等は、(社)全国土木施工管理技士会連合会の「継続学習制度(土木施工管理/CPDS)」、(社)日本技術士会の「継続研鑽制度(技術士/CPD)」、(社)建設コンサルタンツ協会の「継続学習制度(RCCM/CPD)」の学習プログラムとして認定されておりますので、是非参加してください。

1月からの講習会等行事報告

■ 建設機械を取り巻く最近の動向講習会の開催

日時：1月16日

場所：広島国際教育センター

参加者：56名

・建設施工行政を取り巻く最近の話題

国土交通省中国地方整備局企画部 施工企画課

- 1) 最近の国土交通省発注予定工事の入札手続き状況について
- 2) 土木機械設備工事の入札契約手法に関する委員会報告の公表について

・河川用ゲート・ポンプ設備の効率的な維持管理

国土交通省中国地方整備局企画部 施工企画課

- 1) 河川用ゲート・ポンプ設備の効率的な維持管理について
- 2) オフロッド法について

・情報化施工の動向とTS出来型管理

(社)日本建設機械化協会施工技術総合研究所

- 1) 情報化施工の動向と適用事例、
 - ① TS・GPSを利用した盛土締固め管理
 - ② 3次元重機制御を導入した舗装工
 - ③ トータルステーション(TS)を利用した出来形管理
 - ④ 無人化施工機械の事例
 - ⑤ ロボット総プロの概要
 - ⑥ 大規模現場での情報管理システム
 - ⑦ これからの情報化施工
- 2) TSを用いた出来型形管理(土工編)のデモ
 - * 施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理
 - ① 情報技術(TS)が実現する機能
 - ② TSを利用した出来型確認の効果
 - ③ TSを利用した出来型確認のデモ



■忘れてはならない豆知識

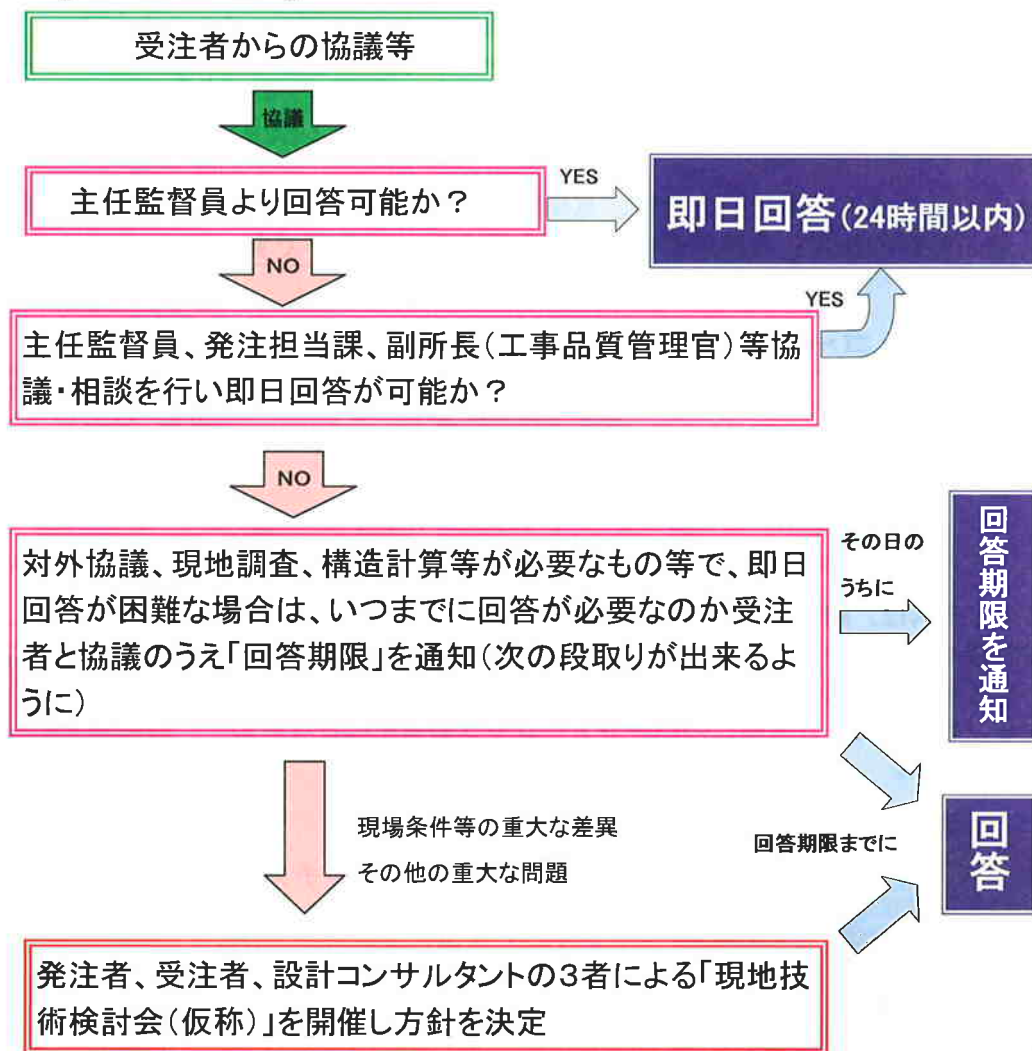
(このコーナーでは、トピックスや、取り立てて新しい情報ではないけれど、最近の動向として再認識、再確認しておくべき事項を掲載していきます。)

◆ワンデーレスポンスの試行～「新しい建設生産システムを構築するための取り組み」

施工の現場において、発注段階で予見不可能な諸問題が発生した場合、発注者の意志決定に時間を費やす場合があるため、実働工期が短くなり、工事の品質確保への影響が懸念されることが指摘されています。このため、国土交通省は平成18年9月の「国土交通省直轄事業の建設生産システムにおける発注者責任に関する懇談会」中間とりまとめの中で、問題解決の迅速な対応による適正な工期の確保、工事の品質確保・向上、工事の効率化等を図る具体的な取り組みの一つとして「ワンデーレスポンス」の実施を明記されました。

そうしたことから中国地方整備局では、平成19年7月からその試行が実施されており、平成20年度においても引き続き**重要構造物を含むもの、現道上のものを主体とした工事を対象**として実施されます。

【実施方法】



「回答期限」を超過する場合には、明らかになった時点で速やかに「新たな回答期限」を通知する

◆オフロード法（公道を走行しないオフロード特殊自動車に対する使用規制）

平成18年10月より建設機械などの公道を走行しない特殊自動車に対して「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」（オフロード法）による使用規制が実施されています。

エンジン出力帯ごとに使用規制開始時期が異なっており、現在使用規制となっている建設機械は下表の赤枠で囲っているエンジン出力帯のもので、それ以外の建設機械についても順次適用が開始されます。

使用規制開始及び継続生産時期

種別	製作日	H18	H19	H20	H21	H22	H23
軽油	19kW以上 37kW未満	継続生産車	H20.8猶予期間終了				
		新規生産車	H19.10規制開始				
	37kW以上 56kW未満	継続生産車	H21.8猶予期間終了				
		新規生産車			H20.10規制開始		
	56kW以上 75kW未満	継続生産車	H22.8猶予期間終了				
		新規生産車			H20.10規制開始		
75kW以上 130kW未満	継続生産車	H20.8猶予期間終了					
	新規生産車			H19.10規制開始			
130kW以上 560kW未満	継続生産車	H20.8猶予期間終了					
	新規生産車			H18.10規制開始			
ガソリン・LPG	19kW以上 560kW未満	継続生産車	H20.8猶予期間終了				
		新規生産車			H19.10規制開始		

※旧モデルで製作される車両（継続生産車）には、モデルチェンジまでの期間を考慮し、使用規制開始後であっても約1～2年製作できるように猶予期間があります
猶予期間終了後であっても、猶予期間中に製作された車両を継続して使用することは可能です。

建設機械については、使用状態（燃料、点検整備の状況等）によって、排出ガス性能が大きく低下することから適正燃料の使用、点検整備の励行等を行うことが重要です。

■ 新入会員紹介コーナ

建設機械・産業機械のレンタル専門店

東洋リース

おかげさまで**35**周年

所在地 [〒701-0144 岡山県岡山市久米6番地]

代表者 [湯浅 信夫]

創業 [1974年 8月]

設立 [1974年 8月]

電話 [086-243-8811]

FAX [086-243-8928]

URL [<http://www.tyl.jp>]

東洋リースは、岡山県内で7店舗を展開する建設機械・産業機械のレンタル専門店。

お客様に便利、安心、安全、お得な商品のご提供と、より一層のサービス向上を目指し、徹底した機械管理体制の構築、業務オペレーションの最適化、お客様とのパートナーシップの強化に日々努めてまいります。



解体工事用の各種アタッチメントや、工場メンテナンス機器を豊富に取り揃えてお客様の多様なニーズにお応えするとともに、全ての商品を安全・安心にご利用いただくため、に平成18年にはISO9001を認証取得いたしました。



長浜産業株式会社

所在地 〒 737-0003 広島県呉市阿賀中央4丁目4-12
 代表者 代表取締役 宇都宮 昭憲 創業 昭和29年4月 設立 昭和41年2月
 電話 (0823) 72-5001 FAX (0823) 72-5002 URL www.nagahama-lease.co.jp

私共、長浜産業は建設機械、産業機械のレンタル、リースを通じ、今も昔も変わる事のない優れた機械技術や施工技術と、革新的なアイデアや新商品を融合させることで、お客様の夢の実現のお役に立ちたいと考えています。



SF77A 橋梁点検車

新しいプロジェクトのスタートは勿論、何か現場で問題が持ち上がった時に、すかさず声をかけて頂けるよう、お客様との緊密なパートナーシップづくりを目指しています。

現場は、一つとして同じものはありません。それぞれの現場が世界にたった一つ。工事の内容や規模、立地条件によって、必要とされるマシンは変わってきます。私たちは、建設機械のプロとして、機械の有効活用の方法や工法提案・アドバイスなどを通じて、現場の作業の成功をサポートしていきます。



45Tウインチ出荷風景



有限会社 巖城機工

所在地 [〒689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町大字赤碕1919番地38]
 代表者 [井木和人] 創業 [平成15年4月] 会社設立 [平成15年4月]
 電話 [0858-55-5121] FAX [0858-55-5122] E-mail [iwaki-k@m6.dion.ne.jp]
 URL [http://www.iwaki-kikou.jp]

鳥取県中部地区において、クレーンのレンタル会社として地域のお客様にお役に立てるよう、「技術力とサービス」をモットーに活動しております。

《業務内容》

クレーン工事一式

建設業 鳥取県知事許可

日本興亜損害保険株式会社代理店

日本興亜生命保険株式会社代理店

古物商 鳥取県公安委員会許可



《保有機械》

10tラフター 1台 (コベルコ RK100)
 16tラフター 1台 (コベルコ RK160-5)
 25tラフター 2台 (コベルコ RK250-3)
 50tラフター 1台 (コベルコ RK500)



超音波トランスポンダ（応答通信）式 重機用作業員接近検知・警報装置 「トラぼん太」

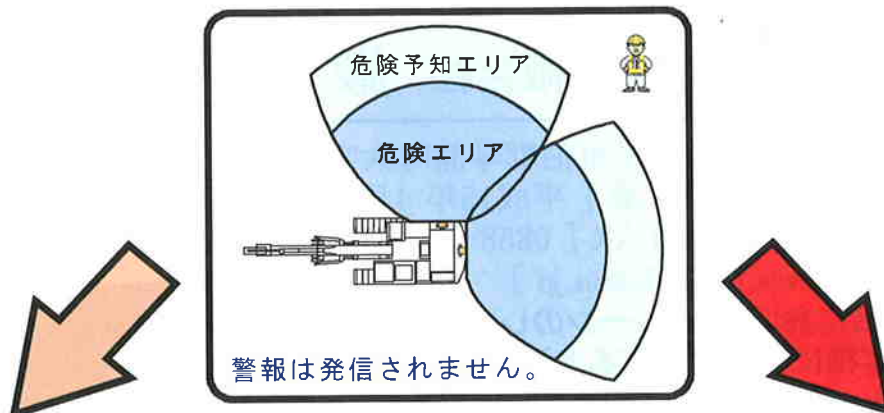
UM-300G2/500G2 シリーズ

UM-300G2-S型は転圧ローラーなどの後方（一方向）を監視するのに適した装置です。
UM-300G2-D型は旋回構造を持つ油圧ショベル等の広角度監視に適した装置です。
UM-300G2-FR型は大型ダンプ等の前後方向を切換えて監視するのに適した装置です。

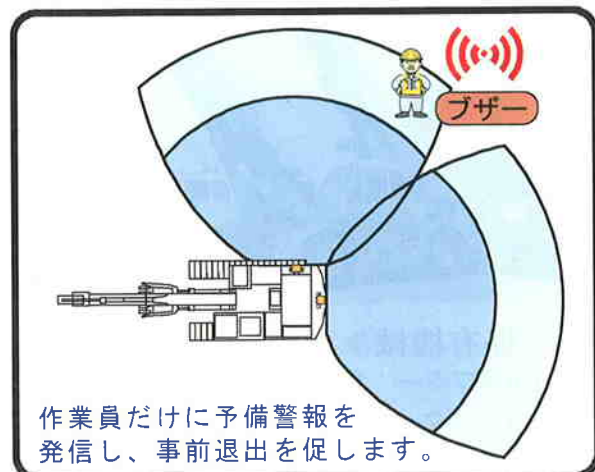
UM-500G2-S型、UM-500G2-D型、UM-500G2-FR型は重機が輻輳して作業を行う現場に適した装置です。

国土交通省・東北地方整備局、（社）日本建設機械化協会および（有）アムカが改良開発を実施したもので、各重機に装着した装置を自動的に同期させ、警報の信頼性を向上させた製品です。（特許出願番号2003-405099出願中）

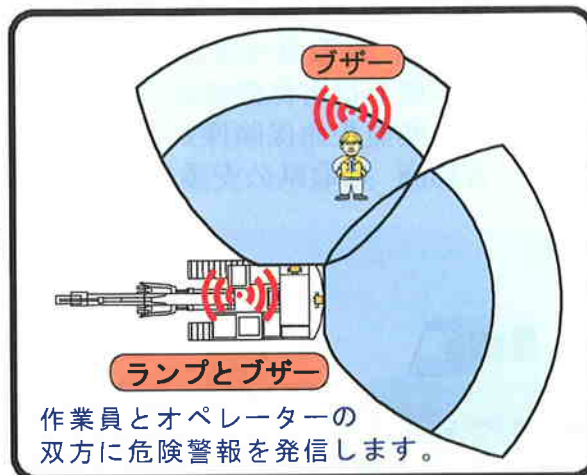
作業員が危険（予知）エリアの外に居る時




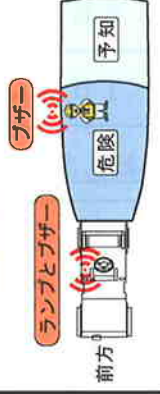



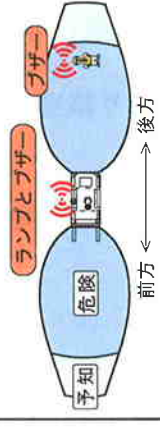



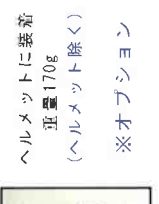
作業員が「危険予知エリア」に侵入すると



作業員が「危険エリア」に侵入すると



『超音波応答通信式』 重機用作業員接近検知・警報装置「トラぼん太」 UM-300G2/500G2 シリーズ

仕様	型式	UM-300G2-S型/UM-500G2-S型	UM-300G2-D型/UM-500G2-D型	UM-300G2-FR型/UM-500G2-FR型
1 概要 機器外観図 ⇒ (写真) 監視エリア概略図 ⇒ (イメージ)		ローラー等に適用  	油圧シヨベル等に適用  	大型重機等に適用 (前後監視切換型)  
2 装置の構成部品 (車両側装置) 作業員用装置 (レスポンス) 2種類より選択して使用します。		①警報装置 [型名: UM3G2-S/UM5G2-S] ②エリアセンサ [型名: UM3G-TD-3x6] 1台 (水平30度×垂直60度) ③接続ケーブル、装備用マグネット ●たすき型 [型名: UM3G-RU-TL]  	①警報装置 [型名: UM3G2-D/UM5G2-D] ②エリアセンサ [型名: UM3G-TD-6x6] 2台 (水平60度×垂直60度) ③接続ケーブル、装備用マグネット ●ヘルメット対応型 [型名: UM3G-RU-H] 	①警報装置 [型名: UM3G2-FR/UM5G2-FR] ②エリアセンサ [型名: UM3G-TD-3x6] 2台 (水平30度×垂直60度) ③接続ケーブル、装備用マグネット 
3 監視エリアの距離		★危険エリア : 3m, 4m, 5m, 6m, 8m, 10mの中から選択します。 [危険エリア内でオペレータと作業員の双方に警報を発信します] ★危険予知エリア : 1m, 2m, 3mの中から選択して危険エリアの外側に形成します。 [危険予知エリア内に進入した作業員だけに警報します]	距離は前方・後方個別に設定できます。 (設定距離は同左) 距離は前方・後方個別に設定できます。 (設定距離は同左)	距離は前方・後方個別に設定できます。 (設定距離は同左) 距離は前方・後方個別に設定できます。 (設定距離は同左)
4 監視エリアの幅 (代表例)		★距離4mの所で幅 約2.5m	★距離4mの所で監視角度 約180度	★前後方向とも距離10mの所で幅 約5m
5 警報		★車両側 : プザー脈動音 82dB/1m 以上およびLEDランプ (危険エリア検知時に接点出力を1回路用意できます) ※オプショナル ★作業員側 : プザー脈動音 85dB/10cm 以上 ※警報についてのご注意 : 作業員が危険 (予知) エリアに入ると、入っている作業員のほかエリアの外に居る作業員にも警報が発信されます。これは自分以外の作業員が危険エリアに居る事を知らせる警報なので、この警報を受けた時は危険エリアの中に居る作業員の安全を確認するようお願いいたします。	★車両側 : プザー脈動音 82dB/1m 以上およびLEDランプ (危険エリア検知時に緑色の点灯から赤色の点滅に変わります) ※オプショナル ★作業員側 : プザー脈動音 85dB/10cm 以上	★車両側 : プザー脈動音 82dB/1m 以上およびLEDランプ (危険エリア検知時に緑色の点灯から赤色の点滅に変わります) ※オプショナル ★作業員側 : プザー脈動音 85dB/10cm 以上
6 電源		★車両側装置 : 車両のバッテリー電源 12V DC または 24V DC ★作業員用レスポンス : 2.2V~3.2V DC 0.5Wh以下 (単四型アルカリ乾電池2本・常溫使用で寿命はおおよそ2週間)		
7 環境性能等		★使用温度範囲 : -20℃~+60℃	★振動 : 5~100Hz, 10G	★衝撃 : 30G/11ms

製品をご理解頂くために

- この装置はオペレータと作業員が日常行なっている安全確認作業を補助する目的の製品です。自動的に安全が確保されるものではありませんのでご承知下さい。
- この装置は作業員の「レスポンス」を検知するもので、人物そのものを検知するものではありません。したがって、始業前に必ず動作点検を行って下さい。
- この装置は空中超音波を利用して雨雪、霧、風、気温、騒音などの影響を受け、下記の場合に使用不能になることがありますのでご注意ください。
 - 1 エリアセンサに泥や雪が詰まったり布などが被せられている場合。
《取除いて動作確認後に使用して下さい》
 - 2 超音波センサが凍結した場合。
《解凍して乾燥した後に使用して下さい》
 - 3 強い雨や雪が降っている時。
《機能低下の可能性ががあります。十分注意して作業を行なって下さい》
 - 4 重機と作業員が20km/h以上の速度で接近する場合。
《機能低下の可能性ががあります。十分注意して作業を行なって下さい》
 - 5 強い横風が吹いている場合。
《監視エリアが風下に流されるので十分注意して作業を行なって下さい》
 - 6 気温が-20℃以下または+60℃以上の環境で作業を行う場合。
《機能低下の可能性ががあります。十分注意して作業を行なって下さい》
 - 7 エリアセンサの近くにエアブレーキやエアノズルの音がある場合。
《誤警報の原因となる場合があります》

■ お知らせ

◆第1回(社)日本建設機械化協会研究開発助成制度認定書授与

この研究開発助成制度は、日本の建設事業における機械化を推進し、もって国土開発と経済発展に寄与することを目的としており、それに合致すると考えられる建設機械及び建設施工技術に係る研究開発調査研究に対して助成するものであり、下記対象技術に認定書を授与いたしました。

記

対象技術 道路建設における環境に優しい硬質岩盤剥離掘削技術の開発
助成研究者 呉工業高等専門学校 環境都市工学科 重松 尚久 殿
期 日 1月28日

◆平成20年度建設の機械化施工優良技術者表彰の推薦お願い

建設機械及び機械化施工に従事する優良な技術者等を表彰することにより、建設機械化の推進及び普及並びに機械化施工技術の向上の一助とするもので、当支部では「建設機械の運転・整備」「機械化施工における建設機械、施工等の運用管理」「新技術・新工法の導入・開発」等に携わられた、技術者の表彰を毎年行っております。

つきましては、当支部ホームページをご参照のうえ、貴社社員より該当者のご推薦を頂き、推薦書に記入の上ご提出下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 推薦要領 推薦書にご記入の上、来る4月30日(水)までに事務局宛にお送り下さい。
2. 選考結果 5月中旬に選考結果をご連絡申し上げます。
3. 表彰式 6月10日(火)(第57回支部通常総会の席上)

◆(社)日本建設機械化協会新刊図書発行ご案内

	会員価格	定 価	出版予定
建設機械等損料表(平成20年度版)	6,600円	7,700円	4月下旬
建設機械等損料表の解説と機械一覧(平成20年度版)	4,300円	4,900円	4月下旬
橋梁架設工事の積算(平成20年度版)	7,140円	8,400円	5月中旬
大口径岩盤削孔工法の積算(平成20年度版)	5,000円	5,880円	5月下旬

* 価格には消費税が含まれております。

◆(社)日本建設機械化協会中国支部19年度新入会員紹介

会 社 名	部 門	入会年月日	住 所
株式会社東洋リース	リース・レンタル業	19年4月 1日	岡山県岡山市久米
有限会社巖城機工	建設業	19年5月15日	鳥取県東伯郡湯梨浜町
長浜産業株式会社	リース・レンタル業	20年2月 1日	広島県呉市阿賀中央

* 新入会員の会社案内を新入会員紹介コーナーに載せておりますのでご覧下さい。

■ 編集後記

新年度になって早、半月が過ぎようとしています。お花見には行かれたでしょうか。といっても、桜の便りが聞かれ始めてからは毎日曜日が雨模様といった具合でせっかく良い季節になったのに、楽しみ半減といったところではないでしょうか。

さて、当機械化協会中国支部のホームページのトップページ等をリニューアルしました。見ていただいているでしょうか。1日平均10人程度のアクセスとなっておりますが、今後も内容等の充実を図り、ヒットしやすくしていきたいと思っています。会員の皆様には意見、提案等ありましたら事務局までお願いいたします。

C Mnavi編集委員会

平成20年4月 発行 編集・発行 (社)日本建設機械化協会中国支部C Mnavi編集委員会
〒730-0013広島市中区八丁堀12-22築地ビル402 TEL 082-221-6841 FAX 082-221-6831
http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/ Email jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp